

パブリックコメント実施結果報告書

1. 計画書名： 第2期宮若市子ども・子育て支援事業計画
2. 意見の募集期間：令和元年12月6日（金）から令和2年1月6日（月）まで
3. 意見の公表場所・方法：宮若市役所本庁情報公開室、若宮コミュニティセンター「ハートフル」、宮若市生涯学習センター「宮若リコリス」
宮若市公式ホームページ
4. 意見の提出件数：5件（2名）
5. 意見の内容と市の考え方

※対応区分：〔A〕原案に修正を加え反映させたもの…0件

〔B〕修正はしないが、何らかの方法で反映している、あるいはさせるもの（原案にすでに盛り込まれているもの、原案の考え方や姿勢に合致し、今後の具体的な取組を実行していく中で反映していくもの）…2件

〔C〕今後の参考にさせていただくもの…0件

〔D〕その他…3件

No.	ページ	行	素案の項目	意見の概要	※対応区分	市の考え方
1	30	9	第4章2. 幼児期の学校教育・保育に係る量の見込みと確保の方策 (1)教育・保育施設	・第4章 P.30 ※宮田保育園は、定員150人から定員160人へ増員予定。とあるが、需要の高まりを考慮すると良い計画かもしれないが、保育の質の部分はどうか。	D	国の基準に従い、保育士の配置がされておりますので、保育の質は確保されているものと考えています。
2	30	-	第4章2. 幼児期の学校教育・保育に係る量の見込みと確保の方策 (1)教育・保育施設	・公立の幼稚園が3園あるが、宮若市の自然という財産を活かした森の幼稚園、シュタイナー教育等特色ある教育をする園があると教育面に興味のある市外の子育て世帯の呼び込みにも役立つと思う。	D	森の幼稚園、シュタイナー教育等特色ある教育をする園は、どちらも私立幼稚園で実施されており、森の幼稚園は立地条件から、シュタイナー教育は教育方針から、公立幼稚園の教育課程において実施することは難しいと思われます。 幼稚園において特色ある教育を実施することは、子育て世代の居住の選択肢になると思われますので、他

						の幼稚園の情報収集を行いながら、特色ある教育の実施に努めてまいります。
3	39	-	第4章2. 幼児期の学校教育・保育に係る量の見込みと確保の方策 (1) 教育・保育施設	・幼稚園は延長保育をしていく予定はないのか。待機児童問題を解消するために保育士の処遇改善による就労定着が第一だと思うが、幼稚園が延長保育を導入すると保護者の選択肢と就労機会が増え、安心感があると思う。	B	幼稚園の預かり保育については、現在、若宮幼稚園において週2回実施しております。令和2年度から週5回に拡充します。預かり保育については、保護者の選択肢が増え、待機児童の解消にも一定の効果があると思われるので、今後も実施内容については、検討してまいります。
4	-	-	-	・飯塚市の健康の森（庄内緑地）や宗像市のユリックスのように健康や文化活動の複合施設があるといいなと思います。プールや公園、温泉、講座、コンサート、イベントなどあって、一日過ごせる場があると子育て世帯には助かります。 また、市外からも人が集まるのではと感じます。	D	市内には、西鞍の丘や2000年公園等の公園やB&G海洋センター、リコリスなどの施設が点在していますが、ご意見をいただいているような複合施設はありません。そのため、今ある施設をより活用できるよう検討していく必要があると考えます。
5	37	9	第4章3. 地域子育て支援事業に係る量の見込みと確保の方策 (4) 地域子育て支援拠点事業	・託児があつて、お母さん同士が交流できる場があれば、まだ1歳未満の赤ちゃんを持たれるお母さんの不安やストレスを解消しやすいと感じます。	B	子育て支援センター等では、託児があり、お母さん同士の交流ができるイベントもありますので、ご利用ください。 市内の子育てに関するイベントについては、宮若市ホームページ等において、毎月、紹介しておりますので、参考にしてください。 また、生後2か月から4か月の赤ちゃん（第1子）のための育児支援プログラムIPPOにおいても、子育ての不安やお母さん同士の交流なども出来ますので、ご利用ください。